

スマートシティの実現に向けた技術提案書

様式1

提出年月日： 2021 年 2 月 15 日

提案団体名： 一般社団法人世界メッシュ研究所 (複数団体による提案も可とします)

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等

※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<p>一般社団法人世界メッシュ研究所(https://www.fttsus.org/worldgrids/)は、日本産業規格地域メッシュコード(JISX0410)の上位互換性を有する全世界拡張である世界メッシュコードを提案し、その普及と、その技術研究開発を行う非営利団体である。一般社団法人世界メッシュ研究所は、世界メッシュコードに基づく世界メッシュ統計の作成・精度評価、世界メッシュ統計データ基盤である統計情報可視化システムMESHSTATS(https://www.meshstats.org/meshstats/)、位置情報を含む源データをメッシュ統計化する技術、メッシュ統計として変換可能なデータの特定方法、及びそれらの変換プログラムの基礎技術とノウハウを有する。世界メッシュコードライブラリを5つの言語(R,PHP,javascript,python,Java)により実装し、オープンソースとして公開している。全世界251か国に対して衛星データ由来のメッシュ統計を中心とし、オープンデータの提供を行っている。デザイン思考に基づくサービスデザインの方法論と世界メッシュ統計技術を融合させた、データ駆動型デザインワークショップを教材(プレゼンテーション資料、テキスト)を独自に開発、これら教材資料を用いたデータデザインワークショップは複数の企業と地域においてこれまで実施してきた実績を有する。これらの技術は科学技術振興機構(JST)戦略的創造研究推進事業(さきがけ)「ビッグデータ統合利活用のための次世代基盤技術の創出・体系化」(研究総括:喜連川優、副総括:柴山悦哉)のもと「グローバル・システムの持続可能性評価基盤に関する研究」(研究代表者:佐藤彰洋)の資金(Grant Number: JPMJPR1504; 研究期間:2015年10月-2020年3月)に基づき実施された成果物の一部である。参考文献、佐藤彰洋「メッシュ統計」、共立出版(2019)。</p>	ア、ウ、オ

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ

※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>世界メッシュ統計を用いたデータを手掛かりとした地域理解を通じて、データ駆動型デザインワークショップによる人間中心型設計思想に基づくサービスデザイン手法により、地域課題に対する課題発見、問題解決のための方法を企画するための教材パッケージを展開する。すでに、本方式を用いることにより、地域課題の発見、解決方法の提案を複数行ってきた実績がある。スマートシティの取り組みにおいて、取り扱うべき課題は都市・地域によって多種多様であり、課題の認識と解決方法の立案は、その場所のステークホルダーが協議と同意の上、企画・設計・展開・運用を行うべきであるという思想のもと、MESHSTATSおよび世界メッシュ統計データを用いたデータからの現状理解への支援と、インディケーター候補の提供を行うことに主眼を置く。課題を解決するべきステークホルダーが自分事としてデータを手掛かりに、社会課題へと取り組むためのグループワークのためのプロセス設計とソリューション開発を支援することにデータデザインワークショップ教材と世界メッシュ統計データ基盤はその手段を与える。地域課題として交通・モビリティの環境評価、観光分野・地域促進のための課題発見とソリューション設計、防災のための事前リスク推計の課題に世界メッシュ統計データ基盤とデザインワークショップを用いてアプローチする。</p>	4.5,6

(3) その他

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
一般社団法人世界メッシュ研究所 事務局	佐藤彰洋・加藤茂博	090-1960-2366	riwgs@fttsus.org